

かわぐち消化器内科

第33回 夜中に突然、腰に激痛！ 何が起きたのでしょうか？



院長 川口 義明

尿管結石は本来泌尿器科の病気ですが、激しい腹痛(脇腹から下腹部にかけての痛み)や腰・背中の痛み、冷や汗、吐き気などの症状で、消化器内科を受診される方も少なくありません。これは、腎臓でできた石が膀胱へ続く「尿管」に落ちて引っかかることで起こり、突然の激しい痛みが特徴です。診断は、症状や診察に加えて、尿検査・レントゲン・超音波・CT検査などで比較的容易につきます。石が小さい場合は自然に排出される場合がほとんどですので、鎮痛剤服用や水分摂取で経過を見ます。しかし、石が大きく自然排石が難しい場合には、泌尿器科で衝撃波やレーザーを使った破碎治療が必要になります。また、細菌感染が加わると腎孟腎炎を起こし、高熱が出ることがあり、緊急の処置が必要です。結石の原因には高尿酸血症など生活習慣との関連性が指摘されおり、水分摂取が少ない方、暴飲暴食しがちな方は特に注意が必要です。

